

第 98 回 全国健康保険協会千葉支部評議会の概要報告

開催日	平成 30 年 5 月 29 日 火曜日 14:30～16:30
開催場所	日本生命千葉ビル 4 階会議室
出席者	小賀野評議員、鈴木評議員、高原評議員、松本評議員、山口評議員（五十音順）
議題	1.平成 30 年度千葉支部事業計画及び重点事業について 2.千葉支部データヘルス計画（第 2 期）について 3.ジェネリック医薬品の使用促進に向けた取組について
議事概要 （主な意見等）	

支部長挨拶

* 第 98 回千葉支部評議会にご出席いただきありがとうございます。4 月に予定していた評議会が中止となったため、今回は協会けんぽ発足 10 年目の節目となる平成 30 年度の最初の評議会となります。

今までの評議会でも何度かご説明を差し上げてきましたが、協会けんぽの基本使命は健康保険給付の審査・支払等を行う基盤的保険者機能と、加入者への保健事業の取組や医療提供側への提案・意見発信等を行う戦略的保険者機能であり、今後は戦略的保険者機能の部門へより多くのマンパワーを回していく方針です。千葉支部では、第一期データヘルス計画の中で健康な職場づくり宣言事業を推進しており、これまでに 589 社を訪問し 346 社から宣言をいただいておりますが、この宣言事業所とその従業員の方々は第二期データヘルス計画遂行の貴重な対象であり、長期的な観点で様々な取組にチャレンジしていきたいと考えております。また、この訪問で得られたノウハウを生かし、戦略的保険者機能の発揮に向けて取り組んでいきたいと考えております。なお、対外的な取組といたしましては、まず第一に加入事業所、現実的には事業所の経営者等へのアプローチになるかと思えます。第二に医師会や薬剤師会といった医療提供側への働きかけ、そして第三に千葉県など行政の関係部局への意見発信になると思えますが、こうした取組を行うにあたり、評議員の皆様のお立場からアドバイスをいただければ幸いです。

それでは、本日も多くのご意見をいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

議事概要

1. 平成 30 年度千葉支部事業計画及び重点事業について

■資料 1-1：平成 30 年度千葉支部事業計画

■資料 1-2：平成 30 年度千葉支部重点事業について

《主な意見・質問等》

◆平成 30 年度が始まり 2 ヶ月経つが、保健グループの各事業はスケジュール通り進んでいるのか。また、保健グループ職員は何名在籍しているのか。《被保険者代表》

⇒ほぼスケジュール通りに進んでおります。職員数につきましては 15 名で、その内正職員は 6 名です。

◆「現金給付の適正化の推進」②について、事後調査の実施スケジュールは 12 月とあるが不正が疑われるデータの提供が年 1 回ということか、それともまとめてこの時期に実施するということか。《事業主代表》

⇒年に一度、12 月にまとめてデータ提供されているため、今年度も同様の 12 月に実施としています。

◆28 年度実績の支部別順位を見ると 5 位以内が少なく、40 位以下が多くみられるので、努力してほしい。《事業主代表》

◆「健康経営」③の項目に記載されている関係団体について、具体的な団体と取組内容、及び今年度の進捗状況を伺いたい。また、⑤の関係団体は③で指す関係団体と同一と考えてよろしいか。《事業主代表》

⇒③の関係団体については、商工会議所や中小企業団体中央会と協定を締結しており、29 年度には健康経営セミナーを実施しました。今年度は各種広報紙を活用した健康経営の普及を行いたいと考えており、今後取り組んでいく予定です。また、⑤の関係団体は労働局及び行政機関をイメージしています。健康宣言が求人活動に有利となる仕組みづくりができるよう、今後働きかけを行っていきたいと考えております。

◆「広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進」の KPI では、健康保険委員委嘱事業所の被保険者割合の 28 年度実績が 47 位ということだが、現在の状況を伺いたい。《事業主代表》

⇒現在は 46 位です。今年度は、健康保険委員が委嘱されていない大規模事業所を訪問するなど、健康保険委員委嘱事業所の被保険者割合を向上させていきたいと考えております。

◆「健康経営」④（健康経営の普及促進）について、健康宣言を行うインセンティブの一つとして、表彰制度を設けるという手段があるが千葉支部では実施しているのか。《学識経験者》

⇒表彰制度については検討しており、他支部では、県と共同で行っている場合と支部単独で行っている場合がありますが、千葉支部としては千葉県と共同で行っていきたいと考えています。

◆表彰制度については、マスコミに事前発表して行えばアナウンス効果が高いと思われる。県との実施が難しいようであれば支部長表彰を行ってもよいと思う。《学識経験者》

◆「費用対効果を踏まえたコスト削減等」について、協会けんぽにおいて調達は一般競争入札を原則とするという規定があるのか。また、本部で全国規模で調達するもの、支部ごとに調達するものなどの役割分担はされているのか。《学識経験者》

⇒原則は一般競争入札となっています。健診機関との契約など、一部限られたものだけ随意契約としています。また、全国共通の帳票等については本部で一括調達しています。

◆「費用対効果を踏まえたコスト削減等」について、一者応札等の場合、業者アンケート調査等で検証を実施するとあるが現在行っているのか。《学識経験者》

⇒これまで事例としては無かったのですが、入札の説明書を取りに来た業者が複数あったにも関わらず、入札に参加した業者が一社のみだった場合には参加しなかった業者にアンケートを取り、アンケート結果を今後の調達に反映させる取り決めになっています。

◆千葉支部の事業所数・加入者数の推移について、大きく伸びているがその理由を伺いたい。また今後も伸びていくとして、いつごろまで・どのくらい伸びていくかという試算は出しているのか。《学識経験者》

⇒千葉支部に限らない話になりますが、平成28年度に行われた短時間労働者に対する適用拡大も理由として挙げられます。なお、千葉支部の伸びが特に大きい理由や、今後の千葉支部の伸びについても、具体的な試算や分析は出来ていません。

◆調達について、審査委員会等の検証機関を設けているのか。《学識経験者》

⇒調達見込額が100万円以上となる随意契約については、支部内で調達審査委員会を立ち上げ、調達が適正であるか等の審査を行っています。

◆一般競争入札について、地域振興という観点をもって千葉県内の業者に目を向けてほしい。《事業主代表》

2. 千葉支部データヘルス計画（第2期）について

■資料2：千葉支部データヘルス計画（第2期）の数値目標について

《主な意見・質問等》

◆千葉支部における新規透析者のデータが掲載されているが、全国での状況はどうなっているのか。また、早い人だと何歳ごろから透析を始めているのか。《被保険者代表》

⇒現在データがないため、次回お示しします。

◆データヘルス計画の評価はいつ行っていくのか。《学識経験者》

⇒毎年度確認し、評価します。

3. ジェネリック医薬品の使用促進に向けた取組について

■資料3：ジェネリック医薬品の使用促進に向けた取組について

《主な意見・質問等》

◆後発医薬品の使用割合について、後発医薬品のない先発医薬品も含めた、医薬品全体を分母とした使用割合を伺いたい。《学識経験者》

⇒現在データがないため、次回お示しします。

◆国全体と比較すると協会けんぽの後発医薬品使用割合が高いことが読み取れるが、協会けんぽと同じく現役世代が多い健康保険組合全体の後発医薬品の使用割合について伺いたい。

《学識経験者》

⇒平成28年度の情報になりますが、協会けんぽが70.4%、共済組合が69%、健康保険組合が69.5%、国民健康保険が69.3%、後期高齢者医療制度が66.4%となっています。

◆保険薬局へのアンケート結果で、品質疑問、患者拒否とあるがこのような回答となる理由はなにが考えられるのか。《事業主代表》

⇒後発医薬品は先発医薬品と主成分が同じでも添加物が異なるため、効果が変わるという意見もまだ出ており、その点を気にしている薬局があるのではないかと考えられます。品質についてしっかりと指導・対応しているという点を広報等で示すことで薬局・患者への不安や考え方を変えていきたいと考えています。

特記事項

・第98回千葉支部評議会傍聴者 支部職員2名

・第99回千葉支部評議会開催予定 平成30年6月29日（金） 14：30～